



【底の尖ったお鍋 見たことありますか ～企画展「お鍋の歴史」開催中！～】

はにわ館では9月1日（日）まで企画展「お鍋の歴史～煮炊き10,000年の歴史～」を開催しています。

現在、私たちが使うお鍋はいろいろな色・形・調理法がありますが、底の尖ったお鍋は見たことがありますか？ 縄文時代、お鍋が発明された頃にはそんなお鍋がありました。古墳時代には、底に脚台がついた鍋も・・・

企画展では、縄文時代から現代まで変化しつづけてきた松阪地域のお鍋を一堂に集め、ひとびとの煮炊きの歴史をわかりやすくご紹介しています。

今回のはにわ通信では、クイズ形式でそんなお鍋の歴史を少しご紹介します。ぜひ、企画展で本物もご覧ください（担当）。

【クイズ①】 縄文時代、土器の発明によって食べることができるようになったものはどっち？

A: 魚

B: どんぐり



【クイズ②】 カマドで使ったのはどっちの甕（かめ）？

A: 長胴甕

B: S字状口縁台付甕



【クイズ③】 中世（鎌倉時代～室町時代）の発掘調査であまり見つからないのはどっちのお鍋？

A: 土製の鍋

B: 鉄製の鍋

【答え】

- ① Bどんぐり。土器で煮て、アクをとらないと食べられません。
- ② A長胴甕。カマドにかかる部分が多くなるように胴の部分が長細くなっています。
- ③ B鉄製の鍋。たくさん使われていましたが、古くなったり壊れても、溶かしてリサイクルできたため、そのまま捨てられることはありませんでした。



【夏本番・瀑布・納涼】

ろざん ばくふ のぞ
廬山の瀑布を望む

りはく
李白

日は香炉を照らし 紫烟生ず
遥かに見る 瀑布の 長川を掛くるを（前川に掛くるを）
飛流 直下 三千尺

疑うらくは是 銀河の九天より落つるか
と日の光が香炉峰をてらし、紫のもやをただよわせている。はるか遠くには、長い川をたてかけたように流れおちる（前方の川に掛かっているかのように）滝（瀑布）がみえる。飛びくだる流れはまっすぐに三千尺。まるで天の川が、天上からそのまま流れおちているかのようだ。>

はやい梅雨明けとともに夏本番の暑さが一気におしよせ、最高気温のピークが日々あらたまる文字どおり酷暑の季節の到来です。

李白の詩は、豪快にながれおちる滝のしぶきが涼風をまきおこし、広大な天地の間をふきぬけるという「古今の絶唱」（蘇軾）のほまれも高いもので、この時節の納涼にふさわしい一篇です。

文化財センターでは、昨年にひきつづき今年も市民ギャラリーをすべてつかって、7月30日（火）～8月4日（日）（9時～17時 土、日曜は18時まで）の期間、「まつさかのちっちゃなアーティストたち」というネーミングで保育園児造形展をおこなっています。園児たちの表現活動の生き生きとした成果が、さまざまな作品になって市民ギャラリーいっぱいにあふれます。ちなみに昨年は、一日あたりのご来館者数が、文化財センターが企画した催しの中で一番多い記録となりました。

李白 杜甫とともに盛唐（713～766）を代表する詩人（所長）



文化財センター はにわ館 & ギャラリー 8月の催し物予定

8月の休館日は、5日（月）、12日（月）、19日（月）、26日（月）です。

開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「お鍋の歴史～煮炊き10,000年の歴史～」7/20（土）～9/1（日）

第3G ■市民講座「鍋と釜の話」講師：NPO法人みえ自然・文化財保護サークル 新田洋さん
8/10（土）13:30～14:30 入場無料、事前申込不要、先着100名程度

第1展示室 ■中学生ボランティアガイド 7/27（土）～8/4（日）【午前の部】10:00～正午 【午後の部】13:00～15:00
※午前の部は土日のみ ボランティアガイド実施時間帯は、はにわ館入館無料

【ギャラリー】 入場無料

第1・2・3G ■園児造形展～ちっちゃなアーティストたち～ 7/30（火）～8/4（日）*土日は18:00まで

第1G ■松阪ユネスコ協会「絵はことばである～井坂とく先生がみる子どもの絵の世界～」
8/14（水）～8/18（日）*最終日は16:00まで

第3G ■三重県ユニセフ協会「子どもの命を守る水～写真と展示品で見るユニセフ活動～」
8/17（土）～8/18（日）*毎日16:00まで

第1・2G ■第70回松阪美術協会展 8/25（日）～9/1（日）*最終日は16:00まで



バーコード読み取り
（文化財センター情報）